

大地の誕生

私たちが現在、生活しているこの松浦の大地ができたのは、地質学では新生代第三紀(約2,600万年前から250万年前)に堆積した砂岩や泥岩の互層の堆積岩からなっています。このころ、松浦から五島列島にかけては延長100キロにも達する巨大な淡水湖ができていたと考えられています。その時の湖底の堆積物によつて松浦の大地はできています。かつての北松炭田はこの地層の石炭を算出していました。このころは大地の変動が激しかった時代で県北部に広がる佐世保・北松炭田の地層には、数十枚もの石炭層が次々にはさまれており、小刻みに石炭層ができるような堆積環境が繰り返して現れたことを物語っています。佐世保・北松炭田は北海道・福岡県とならんで、わが国三大石炭産地と呼ばれていました。とれた石炭は良質で粘り気が強いため蒸し焼きにして製鉄用のコークスとして、また、汽車の燃料として使われました。今では、すべて閉山してしまいましたが、かつては多くの鉱業所が市内にもあり石炭の町として栄えていました。



教育委員会提供

石炭採掘風景 (福島歴史民俗資料館の再現ジオラマ)



コラム

ウォルター・スミス (アメリカ出身)

Cross-cultural Communication  
異文化間コミュニケーション

異文化間コミュニケーションについては、大統領や総理大臣でさえ、その正しい方法を学ぶのに時間を費やしながらかも、多くの間違いをしています。最初の印象は大切に、相手の注意を引き、話しかけるには正しい方法と誤った方法があります。あなたが何語を話そうと、自分とは全く異なるように見える誰かに自己紹介することは恐ろしいことのように思えます。でもそうとは限らないのです。これから3回は、皆さんがもっと異文化間コミュニケーションの達人となれるように、いくつかのアドバイスをしたいと思います。

最初にいくつかの言葉を言ってみましょう。会話を始める時の一番良い言葉は簡単、「Hello (こんにちは)」です。言い慣れるまで鏡の前で自分自身に言ってみましょう。そして次に「How are you? (ご機嫌いかがですか)」、

name is ○○○ . (私の名前は○○○です)、「Do you live here? (ここに住んでいますか)」、「May I talk to you a moment? (少し話をしてもいいですか)」。これらはすべていい言葉です。

次回は他のいい言葉や避けたい言葉についてお話しします。

